

3) CKD-MBD 関連

(14) 脳梗塞、脳出血、心筋梗塞、四肢切断および大腿骨頸部骨折の既往の患者割合（透析前ALP値別）（図表50）



患者調査による集計

グラフ1 集計対象：208,915人
 グラフ2 集計対象：209,080人
 グラフ3 集計対象：209,376人
 グラフ4 集計対象：男性130,681人、女性80,375人
 グラフ5 集計対象：男性129,264人、女性79,485人

解説

透析前ALP値と、脳梗塞、脳出血および心筋梗塞、ならびに四肢切断と大腿骨頸部骨折の既往との関連性を提示した。ALP値の上昇に伴い、脳梗塞、脳出血、心筋梗塞の既往率が上昇する傾向にあった。しかしALP値が71IU/L未満の患者では脳梗塞と心筋梗塞の既往率が高かった。四肢切断と大腿骨頸部骨折では、ALP値の上昇に伴い既往率が増加している。しかしALP値が71IU/L未満の患者では四肢切断の既往率が明らかに高かった。